

さらに深化する

若きヴィルトゥオーゾ

2026. 3.21 (土) 14:00開演 13:00開場
16:00終演予定

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線「池袋駅西口」より徒歩2分(駅地下通路2b出口直結)

2:00 p.m., Saturday March 21, 2026 at Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

S席 ¥8,000 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 (税込)

※チケット料金には消費税10%が含まれています。特別料金については裏面をご覧ください。
※先行販売で満席となった席種は、以降販売されない場合がございます。

[お問合せ・お申込] ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212

www.japanarts.co.jp

◎ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

◎ チケットぴあ t-pia.jp (Pコード: 307-250)

◎ イープラス eplus.jp

◎ ローソンチケット l-tike.com (Lコード: 33276)

主催: ジャパン・アーツ

一般発売

9.13 (土)
10:00~

ジャパン・アーツぴあ
オンラインチケット
8月31日(日) 10:00~

牛田智大

曲目未定 ※曲目は、決まり次第お知らせいたします。

ピアノ・リサイタル

piano recital

TOMO HARU Ushida

50

おかげさまで50年
JAPAN ARTS

近年の牛田智大の変化を見ていると、クラシックの演奏家として生きるということは、作曲家の魂のありかを探究することを通じ、自分自身を見つけるということでもあるのだろうとつくづく感じる。

12歳の若さでデビューして以来、ピアニストとしての人気を確かなものとして忙しく活動する彼だが、自分が求める音楽はどこにあるのか、心地よく正直にピアノと生きる道はどこにあるのかを探るかのように、音楽を豊かに変化させ続けてきた。

自らを次のステップに導く機会のひとつとして彼が挑み続けているのが、国際コンクールの舞台だ。そしてその度ごとに、レパートリーを練り上げる中で音楽を深め、また世界にファンを増やし、新しい境地を開拓してきた。近年はワルシャワで学び、その空気を感じながら、ショパンをはじめさまざまな作曲家に向きあっている。ポーランドで学び活動をしていると、だんだんと力の抜けた自由な演奏になっていくという。それにはポーランドという国の素朴

な空気と時間の流れ、そしてなにより、周囲に惑わされず、自分の音楽だけに集中できる環境が影響しているといえそうだ。

デビューからしばらくの10代の頃は、自分の中にこうしたいという明確な音楽が見つかっていなかったこともあり、大変な時期もあったという。しかし20代半ばを迎え、「今が一番楽にできている。やりたい音楽があって、それができるかどうかになにより大切に、認められるかどうかはあまり関係ないと思えるようになったから」と、頼もしい口調で話す。実際その音楽は最近、より真っ直ぐに訴えかけ、心に触れてくる形に変化してきた。

この秋にもショパンコンクールでまた一つ大きな経験を重ね、どんなふうにも音楽を成熟させることになるのか。その変遷を見守り、その時々魅力を享受することこそ、同時代に生きる演奏家を聴く喜びでもある。

高坂はる香 (音楽ライター)

TOMO HARU Ushida

piano recital

〈特別割引チケット〉

(ジャパン・アーツびあホールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付)

◎ シニア割引＝公演当日65歳以上の方はS席¥7,200、A席¥6,300(税込)でお求めいただけます。

◎ 学生割引(各ランクの半額/席席の選択が可能です) 残席がある場合に限り、2/21(土)10:00より受付を開始いたします。

※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場下さい。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂きます。)

◎ 車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあホールセンターのみで受付)

〈次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください〉①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。券面に記載された指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話・電子機器等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

✕ (Twitter) @japan_arts

牛田智大 (ピアノ) Tomoharu Ushida (Piano)

2018年第10回浜松国際ピアノコンクール第2位、ワルシャワ市長賞、聴衆賞。2019年第29回出光音楽賞。2024年リーズ国際ピアノ・コンクール聴衆賞。2025年第51回日本ショパン協会賞。

2012年、クラシックの日本人ピアニストとして最年少12歳でユニバーサルミュージックよりCDデビュー。2015年「愛の喜び」、2016年「展覧会の絵」、2019年「ショパン：バラード第1番、24の前奏曲」、2022年「ショパン・リサイタル2022」はレコード芸術特選盤に選ばれている。

シュテファン・ヴラダー指揮ウィーン室内管(2014年)、ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管(2015年/2018年)、小林研一郎指揮ハンガリー国立フィル(2016年)、ヤツェク・カズプシク指揮ワルシャワ国立フィル(2018年)、トマーシュ・ブラウネル指揮ブラハ交響楽団(2024年) 各日本公演のソリストを務めたほか、全国各地の演奏会で活躍。2025年9月には、アンナ・スワコフスカ＝ミゴソ指揮ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団日本公演のソリストとして6公演に出演。このほか、その音楽性を高く評価され、これまでにプレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管モスクワ公演や、ワルシャワ、ブリュッセルでのリサイタルに招かれるなど活動の幅を広げている。

ローム ミュージック ファンデーション 2023・24年度奨学生。江副記念リクルート財団第53回奨学生。